

【研究ノート】

区審問記録——近世ロンドンの 地域社会に関する一資料

中野 忠

はじめに

「辛抱強く調べるなら、区審問記録 (Wardmote Inquest Registers) ほどロンドンの社会史にとって実りの多い成果をもたらしてくれる資料はめったにない。にもかかわらず、これらの記録はほとんど知られていないし、利用されてもいない。」1世紀近くも以前、審問記録を紹介した先駆的論文は、こう書き起こしている。¹⁾ その後もしばらく、この指摘が改められることはなかった。だが近年、状況は変化しつつある。ここ15年あまりほどのあいだに、近世ロンドン市研究は著しい進展を見せた。ロンドン市研究に新しい局面を開いた重要な視角の一つは、大都市ロンドンを多元的な構造をもつ都市として捉える見方であり、シティと首都を構成する「下位構造 (sub-structure)」についての再検討である。これらの研究は、ロンドンという巨大な首都が単一の統一体というよりもむしろ、政治的・社会的・経済的に複雑な構成単位の組み合わせからなる複合体である、という側面を明らかにしてきた。代表的な下位単位の一つは、これまで多くの研究が積み重ねられてきたギルドという職能団体であるが、それ以外に近年の研究が解明に努めているのは、地域社会である。それは近隣関係という非公式な形態をとることもあったが、

1) Bell, W. G., 'Wardmote inquest registers of St. Dunstan-in-the-West', *Transactions of London & Middlesex Archaeological Society*, new ser., III (1917), p. 56.

教区教会を中心とした「教区共同体」がもっとも中核的な組織だった。これに加えて、シティの場合には、区という行政単位もまた重要な地域的まとまりを構成していた。最近の研究の展開とともに、この区に対しても新たな関心が寄せられるようになったのである。²⁾

だがギルドに比べ、ロンドンを構成する地域社会についての研究はなお立ち後れている。急速な膨張を続けるロンドンにあって、これらの地域単位はどのような機能を果たしていたのだろうか。それは地域「共同体」と呼びうるような地域的連帯や相互依存の関係が成り立つ場であったのだろうか。ロンドンの成長とともに、これら地域社会の役割はどのように変化していったのだろうか。筆者は現在、王政復古期以後のロンドン社会の研究を進めているが、こうした問題は、いずれの時代を扱うにせよ、今後のロンドン市研究が答えていかねばならない重要な課題となるだろう。

少なくとも16世紀後半以降、ロンドンの地域社会で重要性を増すのは、区よりも教区である。中世末以降の教区に対する関心は、ロンドン史以外の分野でも最近新たな高まりをみせており、教区会議事録、教区監督会計簿等に代表される教区の記録にも注目が集まってきている。³⁾ ロン

2) その先駆となる研究は、V. パールによってすでに70年代に展開されていたが、これをさらに掘り下げた成果を見るようになったのは、80年代後半のことである。代表的な研究としては、Pearl, V. L., 'Change and stability in 17th century London', *London Journal*, V (1979), pp. 3-34; do., 'Social policy in early modern London', in V. Pearl et al. (eds.), *History and Imagination* (London, 1981), pp. 115-31; Boulton, J. L., *Neighbourhood and Society. A London Suburb in the Seventeenth Century* (Cambridge, 1987); Rappaport, S. T., *Worlds within Worlds: Structures of Life in the Sixteenth-century London* (Cambridge, 1989); Archer, I. W., *The Pursuit of Stability: Social Relations in Elizabethan London* (Cambridge, 1991). シティの地域共同体や区については、特に Archer が詳しい。なおロンドン史の最近の研究動向を示すものとしては、Beier, A. L. and Finlay, R. (eds.), *London 500 1700. The Making of the Metropolis* (London, 1986); 川北稔訳『メトロポリス・ロンドンの成立—1500年から1700年まで—』(三嶺書房, 1992)。邦文では、イギリス都市農村共同体研究会編『巨大都市ロンドンの勃興』(刀水書房, 1999) 所収の諸論文、特に坂巻清「近世ロンドン史研究の動向と課題」を参照せよ。

3) 例えば、Wright, S. J., *Parish, Church and People: Local Studies in Lay Religion*

ドンに関してもこの種の記録はかなり大量に残っており、とりわけ救貧行政との関連で、その再検討はロンドンの社会史研究に新しい領域を切り開きつつある。⁴⁾ これらの詳細については、稿を改めて検討する予定である。⁵⁾ しかしロンドンのもう一つの地域単位である区の記録は、少なくともわが国ではほとんど知られていない。本稿の目的は、区に関するもっとも重要な資料である審問記録の内容を、16、17世紀のコーンヒル教区を例にとり、原文に即して紹介することである。⁶⁾

区はノルマン征服以前に起源をさかのぼるともいわれる非常に古い歴史をもつロンドン統治のための地理的単位である。1394年に25に分けられた区に、1550年以降ブリッジ・ウィズアウト区が加わって、近世ロンドン市（シティ）は26の区に分割されることになった。16世紀半ばにすでに10万に近い人口を抱えるようになったロンドンでは、区はさらに小さい100を超える「町」または「街区」（precincts）に分けられていた。⁷⁾ だが中世の区の記録はごく一部を除いて失われてしまい、現在利用でき

1350-1750 (London etc., Hutchinson, 1988); French, K. L., Gibbs, G. G. and Kumin, B. (eds.), *The Parish in English Life 1400-1600* (Manchester U. P., 1997).

- 4) わが国でも、この方面の研究は進みつつある。最近の例としては、菅原秀二「イギリス革命期ウエストミンスターにおける教区政治をめぐって」(『巨大都市ロンドン』, 234-60ページ, また同書所収, 中野忠「王政復古期以後のロンドン社会」, 110-2ページ)もみよ。
- 5) ロンドンの統治機構における教区および区の位置づけについてはさしあたり, Pear; Archer らの前掲書のほか, Pearl, V., *London and the Outbreak of the Puritan Revolution* (Oxford U. P., 1961), Chap. II; McCampbell, A. E., 'The London parish and the London precinct', *Guildhall Studies in London History*, Vol. 11, no. 3, pp. 107-24. Webb, S. & B., *English Local Government*, Vol. III: The Manor and the Borough (London, Longmansgreen, 1908). Chap. X, The City of London は現在でもいぜんとしてもっとも有益な文献の一つである。
- 6) 教区および区の記録の大部分は、ロンドンのギルド・ホール (Guildhall Library, 以下, GL と略記) のマニユスクリプト部門に保管されている。かなりの部分がすでにマイクロフィルム化されており、その複写を利用することができる。それぞれの区の記録の残存状況については, Jones, P. E. and Smith, R., *A Guide to the Records in the Corporation of London Records Office and the Guildhall Library Muniment Room* (London, English University Press, 1951), pp. 125-8.
- 7) 区の地理的区分については, ごく最近便利な地図帖が出版された。Hyde, Ralph, *Ward Maps of the City of London* (Publications of London Topographical Society, No. 154) (London, 1999).

るのは、その大半が16世紀後半以降のもののみである。⁸⁾ コーンヒル区の審問記録 (Wardmote Inquest Books) は、そのうちで最良のものの一つであり、1571年以降1846年までほぼ連続して残っている。16、17世紀に関する部分は裏表にびっしり書かれた羊皮紙を2冊の大型冊子に皮製本したかたちで保存されている (第1巻は1571~1651年、第2巻は1652~1733年)。1年度分の記録はページ数にして少なければ3ページ、多い年度は10ページに及ぶことがある。⁹⁾ しかし以下でみるように、記録の形式は16世紀から18世紀初頭にいたるまで大きな違いはない。本稿の前半では第1巻の最初の部分からの例を示しながら16世紀後半の区審問記録がどのような内容をもつ資料であるかを紹介する。後半では17世紀後半の記録の一部を転写し、それがこの時期のロンドン社会の資料としても有益であるかどうかを考えてみたい。¹⁰⁾

(一)

区のもっとも重要な集まりは、通例年一回開かれる区集会 (wardmote) である。聖トマスの日 (12月21日) に行われるこの集会の最大の目的は、市会議員とその他の区の役人を選ぶことであった。審問記録にかならず記載され、大きな部分を占めるのは、これら役人の名前である。コーンヒルの審問記録の最初の部分からその例を示しておこう。

1571年には、次のような名前と役職 (The names of thenquest with thire offies) が記されている。(GL, MS4069/1, fol. 2v)

8) 中世の区記録については、Thomas, A. H. (ed.), *Calendar of Plea and Memoranda Rolls Preserved among the Archives of the Corporation of the City of London at the Guildhall, a.d. 1413-1437* (Cambridge U. P., 1943), pp. xxiv-xxxv, 114-41, 150-9 を参照せよ。ここには14世紀の区が果たした広範な役割が記録されており、後世の記録と比較検討するうえで大変興味深い。これについても別の機会に検討を加える。

9) GL, MS4069/1&2.

10) 以下の本文では日本語による摘要に続いて原文を転写する。縦りや数字は原文のまま、[] は筆者が補足した箇所、……は省略部分、[ill] は解読不能の箇所を指す。

区長 (forman)/ Mr Edward Atkinson

議長役 (these be the speakers appointed in the said enquest)

Richard Adames/ George Waller/ John Bowltinge/ William
Wincrop

名簿役 (the Pricker)/ John Okes

会計役 (the treasurer)/ Felix Lawrens

検査役 (the Comptroller)/ Raphe Brickes

代書役 (scribe within)/ Richard Brafeld

代書役 (scribe without)/ Edmond Jervis

執事役 (Stewardes)/ John Tailor/ William Thorowgood

厨役 (Butler)/ William Franckham/ Robert Gornett

調度役 (Porter)/ George Hall/ Fraunces Orbieto

審問記録ではこれら役人の職務は次のように規定されている。(fol. 2)

名簿役は、聖トマスの日に市参事会員の前に区のすべての世帯主が出頭したかどうか、およびすべての住人の欠席の状況を記録 (note) すること。検査役は、食料品、パン、ぶどう酒、エール、蠟燭、薪、石炭など、区審問を行うために必要なすべての必需品を点検すること (beware and onsee)。執事役は審問に必要なあらゆる食料品 (all manners of victuals nedefull) を購入すること、厨役はリンネル類、皿、コップ、ロウソク、その他の必需品を用意すること、調度役は区審問の行われるホールにテーブル、椅子などの必要なものを用意すること。そのほかに、調理を準備するために庶務役 (Beadle) という役人もおり、その職務は、区集会の時に肉を料理するのに必要な鍋、ポット等の台所用品を用意することとされている。

区審問にあたっては、小額ながら資金が提供された。会計役はこの区審問に関わる収支を担当した。1571年には次のような簡単な会計記録が

残されている。(fol. 3)

受取 (The treasurers Charges)

市参事会員 Mr Alderman Whate よりの受取 xx s.

審問の仲間 (the company of the enquest) よりの
受取 cxviii s. viij d.

区の慈善 (the benevolence) および市民権の写し
登録料 (entringes of Dyvers mens coppies) よ
りの受取 iiij lbs. j s. vj d.

クライスト病院の貧民のための慈善 (for the poor
of Christes hospitall as appeereth by James
Peele his acquaittance Clerk of the said
Hospitall) よりの受取 xxiiij s. x d.¹¹⁾

受取総額 (Some totalis) xij lbs. iiij s. j d.

支払 (The discharge of the treasurer)

請求書に基づいて執事役 (stewardest by their
bill) への支払 vj lbs. iijs. v d.

請求書に基づいて厨役への支払 lxj s. x d.

肉の調理に対し料理人への支払 (the Cooke for
dressinge of meale) vj s.

皿の借用に関し、白目屋へ (the pewterer fo the
lone of one garnishe and a half of vessell) xv d.

水上運搬人 (the waterberer) へ x d.

公証人に捺印証書作成のため支払 (the scryvenor
for makieing of our indenture) v s.

病院へ、貧民救済のための支払 (the Hospitall for

11) この収入については、後述参照せよ。

the relief of the poore)	xxij s. xj d.
庶務役への報酬 (the beadell in rewarde)	ij s. iiij d.
支払総額 (Som totalis)	xij lbs. iiij s. j d.

これらの役職や会計簿はすべて区審問の開催のためだけのものだった。職務は無用と思われるほど細分化されており、これらの役職の多くは区の統治に日常的に関わるというより、名誉ないし儀礼的性格が強い。役職には区の住人が交替でこれを担当した。¹²⁾ 後段に触れる大勢の大陪審人、小陪審人も加わって開かれる審問のための区集会は、区の住人たちの一種の社交の場でもあった。¹³⁾

年一度の区集会の重要な目的は、審問のために必要な上記の役人以上に行政単位としての区にとって重要な、区の日常的な義務を遂行する役人および区を代表する市会議員を選出することだった。各区から選ばれる市会議員の数は区の大きさによって異なっていたが、この時代のコーンヒル区の場合、以下のように4名が選ばれた。¹⁴⁾ これら役人の名前も毎年の審問記録のもっとも大きな部分を占めている。1571年の例を示せば次の通りである。¹⁵⁾ (fol. 4v)

12) 実際、次の1572年度には、これらの役人は次のようにほとんどが交替している。区长 (John Hill) ; 議長役 (William Towerson, John Ostemer, William Keltling, William Crowch) ; 名簿役 (John Normynton) ; 会計役 (Allexander Sharpe) ; 検査役 (John Turnor) ; 書記 (William Lorneham, John Keill) ; 執事役 (Rowland Chaderton, Henry Cutt) ; 厨役 (Roger Rigby, Henry Alward) ; 調度役 (John Wastall, Robert Cleyton) (fol. 8) しかしこの点についてはもちろんより厳密で連続した分析が必要である。

13) Webb, *op. cit.*, pp. 600-1.

14) 区の大きさはまちまちで、その規模によって選ばれる市会議員の数にも違いがあった。コーンヒル区は比較的小さな区で1638年には387世帯があったといわれる。(MaCambell, *op. cit.*, p. 118). 後述も参照せよ。

15) ただし、別の区では違った呼び名の役人がいた。(Webb, *op. cit.*, pp. 599-600) だがその職務の内容には大差がなかったと思われる。これらの役人の職務については、MaCambell, *op. cit.*, pp. 119-20.

市会議員 (the Common Counseile)

John Lute/ George Forman/ Bryan Calvberley/ Morgaire Richards/ Richard Hodge

治安役 (the Constables)/ Robert Eward/ Thomas Sackfeld/ Philip Johanes/ Thomas Smyth

清掃役 (Scavyngers)/ Henry Alward/ Davy Evans/ Gabriell Curtys/ John Eidred

パン屋 (Bakers)/ Richard Hodge/ Henry Cowdale

庶務役 (Beadles)/ John Hawley

雑役役 (Raker)/ John Smythe

飲食屋 (Tippelers)/ Robert Hardall/ George Hall/ Peter Wormal/ Thomas Holmes/ William Flewet John Hollywell/ James Crowchley

その他に毎年記載される役人としては、大陪審人、小陪審人の名前が記載される。前者の人数は30名と固定されているが、後者は40人前後で年毎に若干の違いがある。例えば、1571年の場合は次のように記録されている。

大陪審人 (The Grande Jury)

Thomas Barnes/ John yonge/ Edward Dowly/ Thomas Cirrell
…… [その他, 計30人]

小陪審人 (The Petty Jury men)

Roger Rigby/ Raphe Boswell/ Henry Aileworth/ Thomas Farrend…… [その他, 計48人]

役人の名前と並んで年々の審問記録に記載されているもう一つの重要なリストは、区内で新たに居住し、営業する者の名前である。彼らは市民であることの証明書あるいは、よそ者である場合は、市の収入役の発

行する許可証 (patent/licence) の写しを保持していることが必要であり、区審問はそれを確認し、審問記録に登録させる権限をもっていた。その登録には2ペンスが必要であり、庶務役が警告を与え、登録料を徴集した。(Item. the said Enquest before wrytten have autoritie to sende for all suche freemen as have not showed their coppys And for every denizen to shewe his pattente and likewise for all other strangers that have lycens by the Chamberleyne of london dwelling in the same warde and every of them to shewe whereby and by what autoritie there do occupye within this Cytty And for recording of their cobby patente and lycens every of them to paye ij d. and to the Beadell for warnynge of them other ij d.) (fol. 9v)

1572年の例をあげておこう。

写しを提示した者の名前 (The Names of suche as shewed thiere coppies this presente yeare)

John Verney/ George Perady his cobby dated 29 August anno 14
Reign Eliz. 23/ William nowell/ Frances Barnard/ Symon Nor-
mall/

…… [その他、計23名]

(二)

審問記録は以上のような名前前のリストがもっとも大きなスペースを占めているが、それ以外に命令 (order)、決定事項 (matters determined)、要望 (request)、さらに告発 (presentment) といった項目のもとに、区の行政、治安、防火、取引きその他に関する苦情や問題点、対策などが具体的に記録されている。これらは区が地域社会としてどのような機能を果たしていたかを知るのにもっとも重要な部分である。そ

の内容や構成には年毎に違いがあり、詳細な分析は改めて試みられねばならないが、例えば1572年には、次のような項目が記されている。(fol. 8v-9v)

決定事項 (Matters determyned at the wardemote enquest in the saide yeare of 1572 in the saide warde and expressed in the Indenture)

まず第一に、われわれはシティの舗装の欠陥に関して、ロンドン市の舗装役の全員を公告する。(Imprimis. We Presented generally all the Pavyors of the Cytty of London for thiere deceptfull paveinge of the City)

R. H. [ほか8名] は、自分の家や納屋でエールその他の食料品を条例に反して販売したことにに関して告発された。(Item. Robert Hardall Peter Warmall Thomas Holmes William Flewet John Hollywell Clement Barnard James Crowchley and Thomas Curtys Typlers were presented for that they soulede in theire howse and Cellers, ale beere and other victralles contrary to the order taken, or made by the lorde maior and his worshipfull Brother aldermen)

F. W. は以下の件で告発された。自分の家、店舗、貯蔵庫の一部を誓約に反して外国人に貸し出し、週12シリング14ペンス、時には15シリングに達する利益を受けた。それは1571年のクリスマスから次の年のミッドサマーまで継続して行われていた。(Item. William Flewet was presented for that he let out som perte of his howse his shop and celler to a forayne contrary vnto his othe and hathe receyved of him iij s. proffette for every Barrell drowinge of stronge Beere and ale and xvij d. for every Barrell of Small Beere and ale wch hathe amounted vnto weekly xij s. xiiij s. (sic.) and some tymes xv s. And that contynued from Christmas anno 1571 vntill midsomer

followinge)

O. H. と J. C. も同様な理由で告発された。(Item. Robert Hardall Thomas Holmes And James Crowchley Tiplers were presented for that they were vehemently suspected to let for the their Cellers to Forayners and to receyve a certeine gayne vppon every Barrell of Beere and ale contrary vnto the orders before expressed)

M 氏の下僕の J. G. は H. 通りの浮浪者 W. L. と売春行為を犯したかどで告発された。(Item. James Giles a scullyan of Mr Hogan was presented for that he was taken comytteinge Putry with Sara Lowe beloange in harpe alley)

J. H. の妻、および J. R. の妻は、口論好きで近隣社会を乱す者だとして告発された。(Item. the wief of John Holland and the wiefe of John Rettellwell were presented to be comon brawlers and Disturbers of their neighbours)

すべての醸造業者は樽を一杯にしないとの理由で告発された。(Itme. All the Brewers of the city was presented for not fillinge of their Barrels)

H. B. は自分の家に四分の一オンス重量の足りない秤を所持している理由で告発された。(Item. Humfrey Brassy was presented for that there was founde and taken in his howse a leaden waight of half a punde wch wanted one quarter of an ounce of waighte)

G. T. と W. K. は次の理由で告発された。彼らは取引所の商店街の管理者であるが、H. W. その他が礼拝のある日曜と祭日に商店街に行き、そこで商品の仕上げをするのを黙認した。(Griffen Thomas and William Keninghowe who were the kepers of the Pawne in the Royall Exchange were presented for suffering Henry Widyngton Marten

Stockwell and Fraunces Arbyeto and Harryson horner and dyvers others to goe into the Pawne vppon Sondaies and feastwall dayes in the Service tyme for the dressinge vp of there wares)

P. に店舗をもっている者は全員、店舗の土製の鍋に火を保っていた理由で告発された。(Item. All those wch have shoppes in the Panne were presented for bearinge fyere in earthen Pannes vnto their shoppe)

T. W. は悪名高い卸売り商人として告発された。(Item. Thomas Willingar of London Goldsmith was presented for a Comon Wholemonger)

A. P. は売春婦として告発された。(Item. Alis Persyvall was presented for a Comon whore)

J. H. とその妻は売春の疑いで告発された。(Item. John Hollam and his weif were presented in suspisicon of Putrey)

区の内部で処理できない問題については、「要望」という形式で、市長とその裁判所に改善が訴えられることもあった。1572年の例をあげておく。(fol. 9v.)

審問より以下の要望 (A REQUESTE made by the Enqueste as followeth)

われわれは [市長殿に] 次のことを要望する。テムズ川の保全については細心の注意が払われてきたが、近年衰退が激しい。かつては17フィートの喫水線をもつ船が沖合に停泊できたが、ここ20年で10フィートの喫水線の船が水路のもっとも深い部分でも停泊できなくなったためである。早急な措置がとられなければ、テムズ川だけでなくロンドン市もやがて衰退する恐れがある。次の会期の議会で以下のような法を立法化するために市民が働きかけることができるよう望む。市に入る者は、脚

荷にしたり、通りに砂利を敷いたり、石灰を消和したり、その他の目的で、砂利や砂を運び出すこと。またあらゆる船主、埠頭の所有者、もしくは市に居住する者は、市長とその仲間の指示で、年に少なくとも6日、適当な時期に、浅瀬で〔砂利等の〕除去作業を自ら、または代理人を探して行なうこと。(Also we desier and praie youre honour and worships that ye will have a carefull and willinge regarde to seeke the preservacon of the Ryver of thames wch is of late yeares very moch decayed for yt is that where wthin these xxth yeares a ship that drewe [ill] seventene foote of water mighte have rydden in the Pool aflote at a Lowe water nowe there can skantly a ship that draweth Ten foote of water ryde a flote in the best of the Chaunell and so consequently near the ryver decayed throughout and vnlesse some spedy order and foresighte be taken therein yt is lyke shortely further to perishe to the [ill] and decaye of the whole cytty Wherefore we moste earnestly desiere your honour and worships that in this next cessions of perlyament oure Burgeoses should earnestely travell that [ill] maie be enacted that all manner of men maye frely within payeing any thinge therefore, take and carry awaie the gravell and sande from the shelves or other places of anoyauce either by Easte or weste the Bridge for balestinge of ships' for gravelinge the streates for slakeninge of lyme or mor for any other vse or purpose whatsoever And that all manner of men owners of of shippes wharfes crayers or boates or that occupie and dwell wthin the Cytty or were the same should labor or fynde a man to labor sixe daies in the yeare a peece at the leaste for the removeinge of shelvpes at the direcon and appointment of the said Lord Maior and his bretheren in all

places betwene Quinbrough and scanes as they shal from tyme to tyme thinke mete and convenyent)

テムズ川の航行に関する上記の例もそうだが、「要望」ではロンドン市だけでなく、王国全体に関わる問題の処理が求められることもあった。次の1573年の例もその一つである。(fol. 11v-12)

要望 (A REQUESTE)

市長、市参事会員殿へ。近隣に住む者の苦情やその他の者の意見によっても、またわれわれが知るところでも、わが国の現状、とりわけロンドン市の金庫の状態には愁うべきものがある。壮健な男子は激減し、女王陛下の力は弱体化している。というのも、リチャード一世、三世、ヘンリー八世の制定法に反して、さまざまな国からよそ者が絶えずこの都市にやすやすと入り込むためである。これらよそ者の数は増加の一途を辿り、食料不足、地代の上昇、乞食や盗人の増加の原因となっている。従って、当区審問は次のことを確認する。もしよそ者の滞在に対して速やかなや改善策がとられなければ、これらよそ者の数が増えてわれわれに匹敵するほどになり、この都市の女王陛下の臣民だけでなく王国の利害をも損なうものである。市と王国の安泰のために、事態を改善すべく適切な措置がとられることが望ましい。(To the right honorable the lord maior and his worshipfull brotheren thaldermen We the wardemote enqueste of Cornhill warde by comon complaynte of oure neighbors and by good advice of others and of oure owne knoleadge lamentinge the state of oure native contrey and especially the welth of the quenes maiestes Chamber of this cytty of london, the dailye ymperishinge of the queenes majestes to the greate decaye of able men, weakinng of the Queens Matie's power and strength by reason of the contynual and eaily resorte of straungers of divers nacon vnto

this cytty contrary to an acte made in the first yere of kinge Richard the third and confirmed by the late kinge of Famous memory Henry the eighthe in the xxxijth yere of his raigñ as in the xvi chapter of his statutes maie appere Notwithstandinge wch statutes the resorte goth and dothe so encrease as the same is the cause of great scarcety of victuals raiseinge rentes and contynuall encreassinge of begger Idle vagabond and theeves of oure owne countrey and nacon We therefore of the said wardmote enquest do affirme notefie and declare that if speedy remedy and redresse be not provided for the said resorte of straungers by labor and sute vnto the queenes majesties and her honorable counceile then the nomber of them and therie children shalbe so many that the shalbe equall to vs in strength and be able not onely to encroche enhabite and vsurpe vpon the queenes loveinge subiectes of this cytty but also our all the realme as appereth by the artificers and others of this cytty wch is greatly to be lamented, And we the queenes majestes subiectes beinge sworne to enquire of all dolyaunces inconveniences and disturbances do fynde this to be the greatest thought it good to put in wrytinge the same as brief as might be referringe it to your wisdomes to seeke redress of the same wch beinge obeyned wilbe to the great comfote of this cytty and the whole relame wch god graunte)

(三)

「告発文」や「要望」は前年とほぼ同じ内容が繰り返されていることも少なくないが、区が抱える別の種類の問題を明らかにするものもある。比較のためにもう1年分、1574年の「決定事項」と「要望」の例を紹介

しておこう。(fol. 14-14v)

舗装, ペントハウス, 食料庫のドアの欠陥が告発された。(Imprimis Pavementes penthouses and celler dores defected are presented)

J. S. 等は, 鍋はあるのに煙突をもっていないため告発された。(Item. John Stanley for no chimney but a pan, John haynes widowe hamond goodman Glascock and widowe Ratclef for not hauinge chimneyes but reredorses were presented [ill.] was often presented)

聖ピーター教会の庭とその北側は不潔で騒々しいとして告発された。(Item. St Peter Church yard and the north side of the same church is infectious and noysome)

ロンドンと郊外のすべての醸造業者は, 旧来の慣習に従った樽(の容積)を満たしていないために告発された。(Item. All the brewers in London & suburbes presented for not fillinge of theirre barreles according the annycient custome of the Cytty and for that theie bringe no kilderkens as theie ought to do nor fillinge beere)

J. H. とその妻は訴訟好きで, 近隣関係の攪乱者であり, 下劣な人間を自分の家に受け入れている。売淫の疑いが強く, 何度も告発されたが, 是正されていない。(Item. John Halland and his wiefe presented to be comon Barraters skolde and distorbers of theirre neighbors and comon receivers of Lewd person unto theirre howse and vehementlie suspected of pewtry often presented and not amended)

M. M. は前記 J. H. の地主で, 区の市参事会員である J. W. より次の中夏までに J. H. の保有を無効にさせるよう警告を受けた。J. H. は1年分の地代を市の金庫に没収されている。(Item. Mark Warner Landes lord of the said holland is presented for that he the xxivth of February 1572 was warned by Sir John White knight then alderman

of this warde that before midsomer then next ensueinge he should cause the same Holland to avoide his Tenemente by means whereof he hathe forfeited one yeare rent to the chamber)

王立取引所は次の理由で告発された。冬季の夜の6時から10時まで、なんの明かりもないため、得体の知れない者が姦淫その他にふけり、下劣な連中によって生命を脅かされるなど、様々な悪徳がはびこっている。しばしば告発を受けたが、改善されていない。(Item. The royall exchange was presented for that by means no light in the wynter betwene the howers of vj and x in the night, there be divers and sundrey abuses commytted viz divers have byn taken comytinge fornificacon and other in fere of their lives by lowde persons often presented and not amended)

同取引所は、次の件でも告発された。日曜日および聖人の祝日に、おびただしい数の少年・少女の浮浪者がそこに集まって、午前も午後も大騒ぎをしている。そのため、気晴らしにそこに散歩にやってきた正直な市民は静かに歩くことができないし、人の話も聞きとれない。また近くに隣接する S. B. 教会の教区民や説教を聞きに来る人は、礼拝(の声)も説教も聞くことができない。ぜひ改善を望む。(Item. The same exchange was also presented for that vppon the sondayes and holy daies there meete greate number of boyes & children and younge roges who aswell in the fore none as in thafter noone make suche showtinge and hallowinge that neither the honest citizens who walke there for theirre recreacon can quietly walke nor one heare and other speake neither can the perishoners in the church of St Bartholomew neere adioyninge to the exchange or such others as come to the surmondes theare heere the devine service or sermonde wherefore we

most humbly praye that the same maye be redressed)

要望 (A request) 多数の少年・少女の若い浮浪者が毎晩通りにたむろして大変な迷惑となっているので、改善のための命令が出されるよう嘆願する。(We most humblie also praie that where there is grete numbers of younge Roges as boyes and gerles lyeing in the streates every night very pittifully that some order maie be taken that it maie be amended And theie provided for)

A. O. の告白により、R. K. は売春行為を犯したかどで告発された。(Item. Rawland Karlton is presented for comyttinge pewltery with Anna On'ed by the confession of the said Anna)

テムズ川の船の脚荷 (バラスト) 処理役および特に脚荷請負人は次の件で告発された。ヘンリー八世の法は、脚荷処理役は砂利や砂を搬出して川が保全されるように、港に近い浅瀬の砂利や砂を船の脚荷に採取することを命じている。だがこの法の意図に反して、件の脚荷処理役は脚荷をラトクリフやブラック・ウォールの側の砂利穴に捨てている。そのためにテムズ川がますます衰退するばかりでなく、ラトクリフ等に近い土地もまた被害を被っている。(Item. Baillisters of ship belonginge to the ryver thames and porte of this cytty especially the Farmors of the said ballist were presented for that whereof by acte of perlyament made in the xxvijthe yeare of the raign of kinge Henry the eight it is ordered and thereby provided yt the said Ballisters of ship or he that shall have the office thereof shall take for the Ballist of the said ships the gravell or sand of suche shelves as are in the ryver neere to the said porte to thend that the said sholves might be taken awaie and thereby the said ryver better preserved wch Ballisters contrary to the good meanyng of the said acte leve gravell sand and shelves

vntaken awaie, and furnish their balliste for ships forth of the gravell pyttes by ratclif and black wall by meanes whereof the said ryver doth not only growe more and more to decaye but also the groundes lyeing neere to the said Ratclif and blackwall are thereby perished wch is wolde serve to moch better purpose)

J. C. 等は女王陛下への臣従の誓いをしなかったために告発された。
(Item. John Cooke Thomas wayne wright William Kirwyn and William Mawson presented according to the seconde article of our charge for that theie have not take the othe of allegaune to the quenes Majesties)

(四)

以上のような項目については毎年かならず記載されているが、年度によっては特別な記録が付されていることもある。例えば、1571年には、区で調達できる武器の数と思われるものが挙げられている。

武器 (Armoure) Corselettes x/ Moorespikes x/ Swarde xxix/
daggeers xxix/ Cotes xix/ Sleves of maile xix paire/ Sculles xij/
Somies vj/ Greate boxes for powder vj/ Litle boxes for powder
vj/ Matches vj/ Billes vj/ Sheafes of arrowes vj/ Serdels xxix/
Poyntes xij dozen

この年度にはまた、雑役役らにより徴集された前記の聖ホスピタルへの慈善金の支払人の名前を通りごとに記載した次のようになりリストもみられる。全部で81人が、2～12ペンスの献金を行っている。

An order taken by the saide enqueste for alleyes and shoppes in the saide warde towards the Charges of the Raker and beadell for the whole yeare as followethe 1571

Swanne alleye	Geroge Kyrton	ij d.
	Goodman Jobson	ij d.
………… [その他, 計 9 名]		
Jaques alleye	Margaret Borand	ij d.
	Bartholomew Love	ij d.
………… [その他, 計 8 名]		
St Michael churhe Yarde	Mres Packington	iiij d.
	Widowe Morrell	ij d.
………… [その他, 計12名]		
Wayhowse Alleye	Widow Chapman	iiij d.
	Goodman Lister	iiij d.
………… [その他, 計 7 名]		
Harpe Alleye	John Plomer	iiij d.
	Thomas Parke	iiij d.
………… [その他, 計20名]		
Hawkyns alleye	Raphe Birkes	iiij d.
	Goodman nielson	iiij d.
………… [その他, 計 4 名 4]		
Shoppes on ye streate Hill	Thomas wilde	iiij d.
	John Boswell	iiij d.
………… [その他, 計21名]		

Receyved the vijth daye of January 1571 from the wardmote
 Inquest of Corn Hill Ward for their benevoleince in the Boxe by me
 James Petie Clarke of Christes hospitall xxij s. xi d.

この例のように、審問記録には必要に応じて徴集される資金に関して、
 区の住人のリストが収録されていることがある。例えば、1597年には、

雑役役の賃金を引き上げるための割当て金増額に関して、次のような「すべての住人」の名簿が作成されている。(fol. 75-78v)

The augmenting of the Rakers wages sessed at this presente Forman of the Wardemot enquest of Cornhill warde in London John Cowper George Gusiby John Thompson Thomas Palmer Wm Calley Wm Bayley Richard Levens George Grave Jno Morrrys Robert Hayes Jno Chare, George Dowson George Hudson Henry Callys and Thomas dixon also of the saide wardmot enquest with the advice of George Kevall deputie of the same Warde for the doinge and passinge whereof the whole Inhabitants of the saide Warde at their generall meting on St Thomas Daie last past and gyve their suffisient warrant.

		augmented
The First Presinct		(増額)
Hewgh Godderd	i shop	ij d. 0
John Forwallyams	i shop	i d. 0
Thomas Forman		xv d. 0
Robert Mollsworth		xij d. iiij d.
Thomas Parradine		xij d. ij d.
………	[その他, 計46名]	
The second presinct		
Thomas Maybanck and Nodingexijs		xxv d. ij d.
Frances Cannon		viiij d. ij d.
Thomas Colse & Chalbrook		x d. i d.
Anthony Warren/William Browne and Mr Chapman		x d. 0
………	[その他, 計65名]	

The Church yarde

Thomas Dirbe	ijjd.
Robert Hurdall and Tittle	i d.
Peter Cutler	i d.
………… [その他, 計17名]	

Harpe alley

John Fynnymore	i d.
Thomas Biggens	i d.
………… [その他, 計16名]	

The Third Presinct

Richard Dod	vj d.	i d.
Wim Evans & John Goodman	iiij d.	i d.
Henry Callyce	vj d.	0
Thomas Wilbraham	viiij d.	0
………… [その他, 計68名]		

The Fowerth Presinct

Peter Blower	i shop	ij d.	0
John Cowper		x d.	ij d.
Thomas Duck		viiij d.	ij d.
Edmond Jarvis		vj d.	i d.
………… [その他, 計47名] ¹⁶⁾			

(五)

以上に紹介した断片からも、16世紀後半のコーンヒル区の審問記録は

16) 全部で259名。ただし、少数ながら数名の名前が一緒に書かれている場合もあるが、これも1名で数えた。同様な街区ごとの名簿は fol. 69v-70にもみられる。

かなり詳細であり、区が都市統治の一端を担う地域組織として、行政、治安、取り引き規制、公共施設管理、さらには道徳的な規制の面でも重要な役割を果たしていたことが窺われる。¹⁷⁾ だがその後、時代をへるにしたがって区審問記録はしだいに簡潔でルーティン化したものになっていくといわれる。¹⁸⁾ 17世紀後半のコーンヒル区の場合はどうであろうか。この記録は、この時期でもロンドンの地域社会を知る手がかりとなりうるだろうか。試みに、王政復古の最初の年（1660年）について、その記録のほぼ全文を、簡単な要約を付して紹介しておくことにしよう。¹⁹⁾

コーンヒル区 1660年 (Cornhill Ward 1660)

[16世紀の記録と同様、まず最初に記されるのは、この年度に選ばれた役員の名前である。役員の名称にも変化はない。(fol. 280)]

1660年度の区審問の命令

(The Order of the Inquest for the said Ward for the yeare ensuing)

区長 (Forman)/ Roger Rea

議長役 (Speaker)/ Thomas Harris / Henry Mosse / Nicholas Kelle/ Arthur Tirrey

名簿役 (Pricker)/ William Butler

会計役 (Treasurer)/ Thomas Corbett

治安役 (Constable)/ Jeremy Gregory

代書役 (Scrib within/without)/ Thomas Lacock / Leonard Bates

執事役 (Steward)/ William Dels/ RICHARD Norton jun.

厨役 (Butlers)/ Robert Taylor / Samuell Shute

調度役 (Porters)/ John Skipper/ Charles Castle

17) 詳しくは、Archer, *op. cit.*, Chaps. 3 & 6, *passim*.

18) 型グンスタン区の例について、Bell, *op. cit.*, p. 68.

19) GL. MS4069/2.

収入役受取 (The Treasurers Charge)

審問よりの受取 (Recd. of the Inquest att severall tymes)	57. 03. 01
市参事会員 T. A. よりの受取 (Recd. of Sir Thomas Adams Alderman of the Ward)	01. 00. 00
区長より分担金受取 (Recd. of the Forman above his Ratable part)	01. 00. 00
区の住人よりの受取 (Recd. of the Inhabitants of the Ward)	16. 03. 10
…… [その他] ……	
合計	79. 18. 07

支払額 (The Treasurers Discharge)

請求書にもとづき執事役への支払 (Payd the Stewards Bill)	16. 18. 04
請求書にもとづき厨役への支払 (Payd the Butlers Bill)	27. 10. 10
…… [その他] ……	
合計	79. 18. 17

[この時期、小規模ながら救貧活動も行なわれている。] (fol. 280v.)

貧民救済のための集金 (Gathered for the Reliefe of the Poore)	07. 11. 06
これは以下の通り分配された。(Which is distributed as followeth	
監獄の貧しい囚人へ (To the poore Prisoners of Newgate Ludgate and the two Compters)	01. 00. 00
G. W. へ (Mr. George Webb)	00. 10. 00
…… [その他, 32件] ……	
合計 (The Total sume is)	07: 11: 06

[この年度までに新たに市民権ないし許可証を得た者の写しの提示は、

この時代にも行われている。認可された年月日も記されるようになる。]

写しの提示 (Copyes shewed 1660) (fol. 280v-81)

料理人 T. H. は1660年5月22日に市民に認可された (Thomas Hamfreys Cooke admitted into the Freedome of this Citty ye 22th of May 1660)

公証人 J. J は1659年4月21日に市民に認可された (Jeremy Jeneway Scrivener Admitted the 21th of Aprill 1659)

薬師商 J. E. は1660年8月21日に市民に認可された (John Elton Apothecary Admitted the 21th of august 1660)

…… [その他, 計26人]²⁰⁾……

[次いで, 区審問の告発 (Presentments) が続く。] (fol. 281-81v)

W. H. その他を次の理由で告発する。彼らは市の条例と慣習に反して、コーンヒル大通りのはずれに車や馬を留めて客待ちしており、住民や通行人に多大な迷惑を与えている。(Imprimis wee present Wm Hall James Kirke francis Porter Thmas Addeson William West Francis Parrett and thomas Petty Carmen whoe frequently stand with their carts and horses at the vper end of the high street of Cornhill to be hired Contrary to the good Orders and Cusustomes of this Citty and to the Annoyence and hinderence of the Inhabitnts and Passengers)

W. R. らハクニィの御者を次の理由で告発する。彼らは市の条例と慣習、および最近の国王布告に反して、コーンヒル通りで馬車や馬を止めたり行き来したりしている。ここは彼らの基点のひとつとなっており、そのため住人の店舗を妨害したり舗装を傷めたりするばかりでなく、こ

20) しかし17世紀も終わりに近づくると、この登録をしない者が増えたとの苦情もふえてくる。Cf. GL. MS4069/2, fol. 325.

の道を通る通行人にも被害を及ぼし、揉め事が絶えない。(Item. Wee present William Richardson William Webb Richard Wood Julibb Butler and John Southton Hackney Coachmen whoe contrary to the orders and customes abovesaid and the King Mati late Proclamacon doe usually stand and ply with their Hackney Coaches and Horses in the said street of Cornhill as one of the cheife places of their standing being a great annoyance and preidice aswell to the Inhabitanter there by the hideing of their shopps and decay of their pavementes as to the hurt to the persens of passengers besedes the stoping and cumbering the Comon way and pasa[ill] in the same street whereby many quarrells are occasioned)

C. の番人を次の理由で告訴する。[舗装にあたって] 泥、灰、その他、不潔なものを混ぜた不純な材料を用いるために、区の道路が本来あるべき清潔な状態に保たれていない。(Item. Wee present the Serviant of the Channell for that by the deficiency of those Employed vnder him the streets lanes and places of the same Ward are not kept cleane as they ought to be but have in them usually much soyle ashes rub [ill] other filthy and noysome things lyeing publiqly therein)

R. 通りに住む寡婦の M. B. を次の理由で告発する。彼女は燃え滓を集める目的で、区内や別の場所からもってきた石炭の灰を王立取引所の前で一日中篩にかける。そのためにそこに塵の山ができており、住民や通行人、家屋に大きな迷惑を及ぼしている。(Item. Wee present Margarett Browne widdow living in Rosemary Lane for that she doth day and at noon day sift seacole ashes which she bringeth from other part of the ward and other plaves for the gathering of Cinders before the Royal Exchange and thereby maketh a Laystall there and much

offendeth the Inhabitants and their house and passengers and greatly abuseth and annoyenth that place)

T. P. らを、その住宅や店舗の前あるいはそれに属する舗装部分が不十分であるために告発する。(Item. Wee Present the defecte of the Pavements before and belonging to the houses and shope of Thomas Pilliard Thomas Poole George Debnam Wm Bridges Thomas Humfreyes Thomas Pratt Lodwick Loyd James Noke Robert Edwards Frances Humfrey Wigley and John Herbert and before and belonging to the [ill] and Freeman yard)

コーンヒルの度量衡検査所を二分の一ハンドレッド重量が軽いために告発する。(Item. Wee Present the Weyhouse in Cornhill for having one half hundredweight too light)

[市民認可の写しを提示した] 前記 J. H. を次の理由で告発。彼はコーヒーハウスを経営し、妻や家族とこの区に住んでいる。彼はフェルト製造業者の組合員だといっているが、その写しを提示していない。確認したところによると、彼は外国生まれの G. M. なる者の奉公人であり、G. M. もまたロンドンの市民権をもち、商人の S. B. のもとで徒弟を勤めたと称している。(Item. Wee present the aforesaid John Herbert whoe keepeth a Coffee house and he with his wife and family liveth in the said ward and sayth he is free of the Campany of Feltmakers but shewith noe Copy thereof and affirmeth That hee is servant to one George Massherdomia an Allien borne whoe as he likewise says is a Freeman of London and served Mr Samuell Bernardiston Merchant as his Apprentice)

取引所の商店主 G. H. らを次の理由で告発する。彼らは自分の市民権認可の写しを提示するよう求められていたのに、それを無視したままで

ある。(Item. Wee Present George Hunt Richard Rowden Vincent Inges Solomon Gosfright Robert Diners Elizabeth Smith Rebecca Bristow and Edward Daniell Shopkeepers in the Exchange whoe having byn duly sumoned to shew the copy of their freedoms have neglected to shew the same)

前記 H. C. を次の理由で告発する。彼はこの区に住んでいるが、スコット・アンド・ロットの支払を拒み、区に関するいなかかることも頑として果たそうとしない。(Item. Wee present the aforesaid Henry Chaberlyn whoe inhabiteth in the said ward yett hath hitherto refused and dothe refuse to beare and pay Scot and Lott in the said Ward, and is in all things which concerne the ward vnconformable and refractory)

これらの告発に関して善処されることを切に願う (At Which Presentments: We Humbly pray may be Reformed)

[その後、例年通り、この年度の区の役人の名前があげられる。]

市会議員 (Comon Coucell men) Joseph Blackwell [ほか、計 6 人]

治安役 (Constables) John Burrows [ほか、計 4 人]

清掃役 (Scavengers) Richard Gawthorne [ほか、計 4 人]

庶務役 (Beadle) Wm Smith

飲食屋 (Tiplers lycenced) Tho: Humfreys [ほか、計 7 人]

大陪審人 (Grand Jury) Tho: Hudson Forman [ほか、計 24 人]

小陪審人 (Petty Jury) Tho: Smith cri: forman [ほか、計 24 人]

(六)

[次いでこの年度には、以下のような詳細な「命令」と「覚え書き」]

が記載されている]

命令 (Order) (fol. 282-82v)

庶務役の W. S. の要望にもとづき、次のことが命ぜられた。彼はこの審問の期間中に B. に募金箱を設け、区の住人が彼に申し出る献金を受取ることができる。(Ordered vpon the request of William Smith the Beadle of the ward That he may in and dureing the sittng of this present Inquest sett vp or place his Box in the Bueery of the Quest-house and receive such offering and Contribution as the Inhabitanes of the Ward shall please to give him)

暗い冬季の朝に起こることの多い盗賊その他の危険や不便からこの区の住人の安全を守るために、夜警は以後、次のメイ・ディまで、11時から朝まで行われること。これ以後、毎年メイ・ディまでは、夜警は朝6時半まで、それ以後ミカエル祭までは朝4時まで続行されるものとする。この職務に対し夜警員の励みになるように、住民により支払われる四季当り27シリングの給与に加えて、当面この職務を果たす夜警員に、[市参事会代理人の] H. W. の手元にある区資金21ポンド8シリング8ペンスの中から、それぞれ3シリングが支払われるものとする。資金の残りは区審問の命令があるまで、代理人の手元に置いたままにする。(Orderd That for the better safety and preservation of the Inhabitants of this ward from the danger of Theives and other dangers and inconvenyencyes which usually doe or may happen in darke winter mornings The nightly Watch for the tyme being shall from henceforth vntill May day next continue their service and Watch every morning vntill half and houre after xix of the Clock in the morning, and soe yearely afterwarde the Watch shall continue their Winter Watch vntill half an houre after Six in the morning vntil May day,

and afterward till Michellmas till Four in the Morning And for the
Incouragement and satisfaction of the Watchmen for their service in
this behalfe It is Orderd That over and above their present respective
Sallary of xxvij s. a quarter to each of them payd by the Inhabitantes
respectively there shalbe allowed and payd to every one of the said
Watch men for the tyme being performing the said service according-
ly three shillings a peece quarterly dureing the whole yeare out of the
xxi lbs. viij s. viij d. being the ward money now remayning in the
hands of Mr Deputy Hugh wells. And that the residue of the said
money shall remayne in his hands vntill further order of the Inquest
of this Ward)

次期および将来の治安役は、聖トマスの日役人の選出に関して、
1607年の審問でなされ、[本記録の] 108葉目に記録されている命令が、
これまで遵守されてきたことを配慮すること。(Orderd That the next
succeeding constable and all other futer and succeeding constables of
this ward doe take care That the Order made by the Inquest in the
yeare 1607 and entred fol: 108 relating to the Choyce of officers on St
Thomas day before the time to come better observed the same for
some yeares past hath byn)

この審問は1655年1月9日付けで本書に記録された命令と1654年の審
問の会計記録を熟読したが、[区の] 法廷は、前記の命令に述べられ
た否認には何の根拠もないと判断し、前記会計簿の是認を記録するよう
命じた。²¹⁾ (THIS INQUEST having pervsed an Order entred in this
booke the 9th of January 1655 and the Accompt of the Inquest in the

21) 本文の該当箇所には治安役の受取った一時金の用途に関する記述が見られる。詳細は文字不鮮明で解読不可能。

year 1654 for that this Courte doe finde noe ground for the disapprobacon mencened in the said order of the January 1655, and therefore have ordered this entry of their approbacon of the said Accompt)

当審問はこの区の第四街区の住人である家具商の R. M. を区の治安役の一人として報告した。この役は先の聖トマスの日に開かれた区集会により通常の方法で選ばれたものである。しかるに、今月7日月曜日に、以下にその写しを記す同日付けの命令で、前記 R. M. は治安役職から解任され、区集会が別の適当な人物を彼の代りに選出するよう命じた。これに基づき、当区審問は1660年1月10日、前記街区のもう一人の住人 J. Y. を、R. M. に代わってこの年度の治安役職に就くよう選出した。

(Whereas this Inquest have returned in their Presentment: robert Morris Vpholder an Inhabitant in the 4th precinct of this Ward to be one of ye Constable of this ward being therevnto in vsuall manner chosen by ye Wardmate on St Thomas day Last Now for [ill] as on Monday ye 7th day of this present january ye Court of Aldermen by an Order of that date a copie whereof is herevnder written have ordered that ye said Robert Morris shalbe discharged of the office of Constable in the said ward for ye yeare ensueing and that ye Wardmote there shall forthwith elect another fitt person to serve the said office in his roome and stead This Inquest have thervpon this: 10th: of January 1660 elected John Young another Inhabitant of ye said precinct to serve the said office of Constable for this yeare ensueing in ye stead as place of ye said Robert Morris)

コーンヒル区の [前記] M. 隊長は、この都市の義勇軍の隊長であり、次期の治安役を免除される。区集会は別の適当な人物を彼の代りに選ぶ

こと。(It is Orderd that Captaine Morris of the ward of Cornhill being [ill] to his Matie: and now Captaine of one of the Voluntary Troopes of this Citty shalbe discharged of the office of Constable in the said ward for the yeare ensueing and That the wardmote there shall [ill] elect another fitt person to serve the said office in his roome and stead)

当審問において、M. R. らの家から H. 通りに落ちる水の流れに関して、彼らの意見の食い違いを聴聞し、苦情が改善されるように処置し、水を処理する導管を新たに作るために、当審問の要請に基づいて、M. R. らは当審問のメンバーの一人 N. K. の決定に従うこととなった。M. R. らは、1660年2月2日以前に N. K. が命じ、指定した応分の費用を負担することを約束した。(Vpon heareing of the differences of Maximillian Rolls John Turner and John Shirley before this Inquest concerning a water course falling into Harrow Alley from their housse and for the repayracon and new making of a Pipe for conveyance of the same water soe that the annoyance now complained of may be redressed the said Maximillian Rolls John Turner and John Seherley have at the request of this Inquest submitted the same to the determinacon of Mr Nicholas Kelke one of he members of this Inquest, and have promised to beare their proporconable charge of the charges thereof as the said Me Kelke shall order and appoynt vnder his hand in writing before the second day of February in this present yeare 1660)

覚え書き；当審問は、鋳物師の A. G. と次の合意に達した。彼は年16 シリングで、この区の消火装置が円滑に作動するように良好な状態に保つこと。また彼の使用人または代理人が機会があってこれを使い、なく

したり盗んだりすることがあった場合には、これら [消火用の] 機具や装置を弁償すること。(MEMORANDUM that this Inquest did agree with Mr Anthony Greene Founder in Loathbury That he in consideration of 16 s. per ann. Should keepe the Engine of this Ward for quenching fire in good repaire and fitt and perfect working state and condition, and make good such implements and appurtenances thereof as shall happen to be lost or imbezelled if his servantes or persons appoynted by him doe worke att the said Engine when there shalbe occasion of vse thereof)

覚え書き；1661年4月6日付けで、市参事会員代理は、本記録の反対側のページに書かれている審問の命令に従って、夜警員に先の四季の追加手当てを支払うために、庶務役の W. S. に32シリング支払った。この総額は手元にある区資金から代理人が支払った。(Memorandum that vpon the 6th of Aprill 1661, Mr. Deputy Wells did pay vnto William Smith Beadle xxxij s. to pay to the Watch men as their additionall Sallary for the Last Quarter according vnto an Order of the Inquest written on the other side of this leafe, which summe is by him payd out of the Ward money in his hand)

むすびにかえて

区審問記録の内容は以上に尽きるものではない。また16、17世紀のコーンヒルの審問記録は、古い時期から連続して残っている点でも、内容が詳細である点でも、他の区の記録に比べて資料的に優れている。しかしどの区であれ、審問記録はおおむねここで紹介した構成と内容からなっていると見てよい。²²⁾

22) ロンドンの地域社会を明らかにするには、当然その他の区についても分析を進める

みてきたように、区審問記録は一般に、1) 区の役人の名前、2) 市民・営業者の名前、3) 収入役の収支、4) 告発、命令、要望等に関する記述からなっている。大きなスペースを占めるのは、1)、2)の部分であり、審問記録が作成された最大の目的の一つが、これらの名前を年々登録することにあつたことは疑いない。したがって一見したところ、この記録は名前の羅列からなる退屈な資料のようにみえる。17世紀以降の記録にはとりわけその傾向が強い。しかし4)の部分からは、区という地域社会が抱えた様々な問題やその対処方法、区に期待された役割、規範等を垣間みることができる。この部分に関しては、17世紀以降よりも16世紀のほうが相対的に詳細であり、そのことは、この時代に区が地域社会の単位として果たした役割の大きさを反映しているといえるかもしれない。しかし1660年の例で示したように、17世紀後半にもこうした部分の記録はかならずしも少なくない。単なる名前の羅列にみえる部分も、だれがこの区に市民や営業者として参入し、だれがどのような役職に、どれくらいの頻度で就いたかといった点を時系列的に追っていけば、地域社会の機能やその変化について、具体的に分析できる可能性がある。本稿でも触れた課税や分担金に関する住民リストが利用できる場合には、その分析はより広がりをもったものになるだろう。

区審問記録が提供する情報は、教区会議事録や教区の会計簿のそれと比べると確かに少なく、繰り返しも多い。また区はけっしてロンドンを構成する唯一の地域単位ではなかつたし、それがどの程度、地域「共同体」として機能していたかは、今後の検討を待たねばならない。しかし

必要がある。筆者が短い滞在で調査したかぎり、17世紀後半については、GLMS4426 (St Christopher le Stock: precinct minute book 1670-1778); GLMS 4458 (St Coleman Street Ward, Vol. 1); GLMS 3018 (Parish or precincts of St Dunstan in the West: Register of presentment of the wardmote inquest 1558-1870, 2Vols.)などの区記録(しばしば街区や教区の記録と混じっている)が比較的詳しい記述をもち重要と思われる。

17世紀に関しても、区審問記録がロンドンの「下位構造」の一側面、あるいはその変質や「崩壊」の過程を解明するために無視できない資料であることは、以上のごく簡単な紹介を通じても明らかであろう。

(本稿は文部省科学研究費一般研究Cおよび早稲田大学特別課題研究費による研究の一部である)